

CASBEE®-建築(新築)

評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2016年版 使用評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2016(v3.0)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	株式会社本田技術研究所ライフレ	階数	地上4F
建設地	埼玉県朝霞市	構造	RC造
用途地域	準工業地域	平均居住人員	60人
地域区分		年間使用時間	2,500時間/年(想定値)
建物用途	事務所	評価の段階	
竣工年	2023年5月 0.0	評価の実施日	2022年3月16日
敷地面積	105,125 m ²	作成者	株式会社石本建築事務所 長谷
建築面積	1,012 m ²	確認日	2022年3月16日
延床面積	2,502 m ²	確認者	株式会社石本建築事務所 田



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 0.6 ★★★★★

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算

30%: ★★★★★ 60%: ★★★★★ 80%: ★★★★★ 100%: ★★★★★ 100%超: ★★★★★

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q 環境品質 Q のスコア = 2.2

Q1 室内環境

Q1のスコア = 2.4

Q2 サービス性能

Q2のスコア = 2.9

Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア = 1.1

LR 環境負荷低減性 LR のスコア = 3.0

LR1 エネルギー

LR1のスコア = 3.4

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 2.7

LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 2.8

3 設計上の配慮事項		
総合	高気密・高断熱かつシンプルで機能的な建築物とした。	その他 無し。
Q1 室内環境	換気能力を十分に取った計画とした。 また、建屋内喫煙をしない計画とした。	Q3 室外環境(敷地内) 特別な配慮事項無し。
LR1 エネルギー	建物外皮の熱負荷抑制、設備システムの効率化に配慮した計画とした。	LR3 敷地外環境 特別な配慮事項無し。
Q2 サービス性能	階高・天井高にゆとりをもたせ、快適性に配慮した計画とした。	
LR2 資源・マテリアル	節水型機器を使用した。	

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される

CASBEE-建築(新築)2016年版
株式会社本田技術研究所ライフクリエーションセンター35号棟

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2016年版

欄に数値またはコメントを記入 ■評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2016(v3.0)

スコアシート		環境配慮設計の概要記入欄		評価点	重み係数	評価点	重み係数	全体
Q 建築物の環境品質								2.2
Q1 室内環境					0.40		-	2.4
1 音環境				2.2	0.15		-	2.2
1.1 室内騒音レベル				1.0	0.40		-	
1.2 遮音				3.0	0.40		-	
1 開口部遮音性能				3.0	0.60		-	
2 界壁遮音性能				3.0	0.40		-	
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)					-		-	
4 界床遮音性能(重量衝撃源)					-		-	
1.3 吸音				3.0	0.20		-	
2 温熱環境				2.6	0.35		-	2.6
2.1 室温制御				3.0	0.50		-	
1 室温				3.0	0.38		-	
2 外皮性能				3.0	0.25		-	
3 ゾーン別制御性				3.0	0.38		-	
2.2 湿度制御				1.0	0.20		-	
2.3 空調方式				3.0	0.30		-	
3 光・視環境				1.8	0.25		-	1.8
3.1 昼光利用				1.8	0.30		-	
1 昼光率				1.0	0.60		-	
2 方位別開口					-		-	
3 昼光利用設備				3.0	0.40		-	
3.2 グレア対策				1.0	0.30		-	
1 昼光制御				1.0	1.00		-	
3.3 照度				2.0	0.15		-	
3.4 照明制御				3.0	0.25		-	
4 空気質環境				2.9	0.25		-	2.9
4.1 発生源対策				3.0	0.50		-	
1 化学汚染物質				3.0	1.00		-	
4.2 換気				2.6	0.30		-	
1 換気量		1人あたり30m ³ /hで算出		4.0	0.33		-	
2 自然換気性能				1.0	0.33		-	
3 取り入れ外気への配慮				3.0	0.33		-	
4.3 運用管理				3.0	0.20		-	
1 CO ₂ の監視				1.0	0.50		-	
2 喫煙の制御		建物全体の禁煙を確認		5.0	0.50		-	
Q2 サービス性能				-	0.30		-	2.9
1 機能性				2.7	0.40		-	2.7
1.1 機能性・使いやすさ				2.6	0.40		-	
1 広さ・収納性		利用者59人に対し558m ² (1人あたり9.45m ²)		4.0	0.33		-	
2 高度情報通信設備対応				1.0	0.33		-	
3 バリアフリー計画				3.0	0.33		-	
1.2 心理性・快適性				2.6	0.30		-	
1 広さ感・景観		事務室天井高3.5m		5.0	0.33		-	
2 リフレッシュスペース				2.0	0.33		-	
3 内装計画				1.0	0.33		-	
1.3 維持管理				3.0	0.30		-	
1 維持管理に配慮した設計				3.0	0.50		-	
2 維持管理用機能の確保				3.0	0.50		-	
2 耐用性・信頼性				3.0	0.30		-	3.0
2.1 耐震・免震・制震・制振				3.0	0.50		-	
1 耐震性(建物のこわれにくさ)				3.0	0.80		-	
2 免震・制震・制振性能				3.0	0.20		-	
2.2 部品・部材の耐用年数				3.4	0.30		-	
1 躯体材料の耐用年数				3.0	0.20		-	
2 外壁仕上げ材の補修必要間隔				3.0	0.20		-	
3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔				3.0	0.10		-	
4 空調換気ダクトの更新必要間隔				3.0	0.10		-	
5 空調・給排水配管の更新必要間隔		主要3種の2種以上にB以上を使用(Eは不使用)		5.0	0.20		-	
6 主要設備機器の更新必要間隔				3.0	0.20		-	
2.4 信頼性				2.6	0.20		-	
1 空調・換気設備				3.0	0.20		-	
2 給排水・衛生設備				2.0	0.20		-	
3 電気設備				3.0	0.20		-	
4 機械・配管支持方法		耐震Aクラス使用		4.0	0.20		-	
5 通信・情報設備				1.0	0.20		-	

3 対応性・更新性			3.2	0.30	-	-	3.2
3.1 空間のゆとり			4.2	0.30	-	-	
1	階高のゆとり	階高5.0m以上	5.0	0.60	-	-	
2	空間の形状・自由さ		3.0	0.40	-	-	
3.2 荷重のゆとり			3.0	0.30	-	-	
3.3 設備の更新性			2.6	0.40	-	-	
1	空調配管の更新性		2.0	0.20	-	-	
2	給排水管の更新性		2.0	0.20	-	-	
3	電気配線の更新性		3.0	0.10	-	-	
4	通信配線の更新性		3.0	0.10	-	-	
5	設備機器の更新性		3.0	0.20	-	-	
6	バックアップスペースの確保		3.0	0.20	-	-	
Q3 室外環境(敷地内)			-	0.30	-	-	1.1
1 生物環境の保全と創出			1.0	0.30	-	-	1.0
2 まちなみ・景観への配慮			1.0	0.40	-	-	1.0
3 地域性・アメニティへの配慮			1.5	0.30	-	-	1.5
3.1	地域性への配慮、快適性の向上		2.0	0.50	-	-	
3.2	敷地内温熱環境の向上		1.0	0.50	-	-	
LR 建築物の環境負荷低減性			-	-	-	-	3.0
LR1 エネルギー			-	0.40	-	-	3.4
1 建物外皮の熱負荷抑制		[BPI][BPI _m]=0.48	5.0	0.20	-	-	5.0
2 自然エネルギー利用			3.0	0.10	-	-	3.0
3 設備システムの高効率化		[BEI][BEI _m]= 0.79	3.1	0.50	-	-	3.1
4 効率的運用			3.0	0.20	-	-	3.0
集合住宅以外の評価			3.0	1.00	-	-	
4.1	モニタリング		3.0	0.50	-	-	
4.2	運用管理体制		3.0	0.50	-	-	
集合住宅の評価			-	-	-	-	
4.1	モニタリング		-	-	-	-	
4.2	運用管理体制		-	-	-	-	
LR2 資源・マテリアル			-	0.30	-	-	2.7
1 水資源保護			3.4	0.20	-	-	3.4
1.1 節水		節水型便器の使用	4.0	0.40	-	-	
1.2 雨水利用・雑排水等の利用			3.0	0.60	-	-	
1	雨水利用システム導入の有無		3.0	0.70	-	-	
2	雑排水等利用システム導入の有無		3.0	0.30	-	-	
2 非再生性資源の使用量削減			2.4	0.60	-	-	2.4
2.1	材料使用量の削減		2.0	0.10	-	-	
2.2	既存建築躯体等の継続使用		3.0	0.20	-	-	
2.3	躯体材料におけるリサイクル材の使用	-	3.0	0.20	-	-	
2.4	躯体材料以外におけるリサイクル材の使用	-	1.0	0.20	-	-	
2.5	持続可能な森林から産出された木材		2.0	0.10	-	-	
2.6	部材の再利用可能性向上への取組み		3.0	0.20	-	-	
3 汚染物質含有材料の使用回避			3.2	0.20	-	-	3.2
3.1 有害物質を含まない材料の使用			3.0	0.30	-	-	
3.2 フロン・ハロンの回避			3.3	0.70	-	-	
1	消火剤	不活性消化ガスを使用している	4.0	0.33	-	-	
2	発泡剤(断熱材等)		3.0	0.33	-	-	
3	冷媒		3.0	0.33	-	-	
LR3 敷地外環境			-	0.30	-	-	2.8
1 地球温暖化への配慮		ライフサイクルCO2排出率 85%	3.6	0.33	-	-	3.6
2 地域環境への配慮			2.0	0.33	-	-	2.0
2.1 大気汚染防止			3.0	0.25	-	-	
2.2 温熱環境悪化の改善			1.0	0.50	-	-	
2.3 地域インフラへの負荷抑制			3.0	0.25	-	-	
1	雨水排水負荷低減		3.0	0.25	-	-	
2	汚水処理負荷抑制		3.0	0.25	-	-	
3	交通負荷抑制		3.0	0.25	-	-	
4	廃棄物処理負荷抑制		3.0	0.25	-	-	
3 周辺環境への配慮			2.8	0.33	-	-	2.8
3.1 騒音・振動・悪臭の防止			3.0	0.40	-	-	
1	騒音		3.0	0.33	-	-	
2	振動		3.0	0.33	-	-	
3	悪臭		3.0	0.33	-	-	
3.2 風害、砂塵、日照阻害の抑制			3.0	0.40	-	-	
1	風害の抑制		3.0	0.70	-	-	
2	砂塵の抑制		-	-	-	-	
3	日照阻害の抑制		3.0	0.30	-	-	
3.3 光害の抑制			2.3	0.20	-	-	
1	屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策		2.0	0.70	-	-	
2	星光の建物外壁による反射光(グレア)への対策		3.0	0.30	-	-	

CASBEE埼玉県 重点項目シート





■使用評価ソフトバージョン

CASBEE埼玉県2016年版

1 建物概要

建物名称	株式会社本田技術研究所ライフク	BEE	0.6	BEEランク	★★
------	-----------------	-----	-----	--------	----

2 重点項目の評価

ライフサイクルCO2の削減のスコア		緑の保全・創出のスコア		
3.6	+	1.0	=	4.6 
重点項目の各スコアの合計点				
がんばろう 6.0未満 	良い 6.0以上 	非常によい 6.8以上 	すばらしい 8.0以上 	

3 重点項目についての環境配慮概要

(1) ライフサイクルCO2の削減		スコア平均	3.6
<CASBEE埼玉県の対応する配慮項目とスコア>			
LR3 敷地外環境対策	1. 地球温暖化への配慮	スコア	3.6
<配慮した内容を記述> 特になし。			
(2) 緑の保全・創出		スコア平均	1.0
<CASBEE埼玉県の対応する配慮項目とスコア>			
Q3 室外環境(敷地内)	1. 生物環境の保全と創出	スコア	1.0
Q3 室外環境(敷地内)	3. 2 敷地内温熱環境の向上	スコア	1.0
LR3 敷地外環境	2. 2 温熱環境悪化の改善	スコア	1.0
<配慮した内容を記述>			

 : 入力欄